



まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

■まちづくり活動助成金 詳細(市ウェブサイト)

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/life/shiminsanka/1001857/1001859/1001860.html>



事業名 アンケートによる住民の意向調査事業

団体名 耀く大野町まちづくり委員会

【事業概要】

大野町住民(約 360 世帯)に対して、よりよいまちづくりのための意識・意向調査を実施する。そのアンケート結果を踏まえ、次年度に取り組むべき事業を企画立案する。また、住民が調査報告書を読覧することにより、地域課題解決の意識が高まり、よいまちづくりのきっかけ作りを行う。

【事業費総額(予算)】293,530 円

【助成金交付決定額】100,000 円

【主な経費内容】

印刷用紙、プリンターインク、アンケート印刷、返送用封筒、報告書印刷、アンケート返送郵送料、アンケートデータ入力、プロジェクター、ホワイトボード



4月15日(木)10:00~12:00、アンケートによる住民の意向調査事業のキックオフミーティングが実施され、耀く大野町まちづくり委員会の2名が岐阜大学地域科学部教授の富樫幸一先生からのアドバイスを受けながら、今後の事業の進め方について話し合いました。

耀く大野町まちづくり委員会 事務局長である鈴木さんからは、大野町が「住み続けられる地域」であるために、地域で取り組むべき「安心・安全・住みやすさ(生きやすさ)」に繋がる業務を中心に、継続的に事業を行っていきたい意向が説明されました。今回、まちづくり活動助成金を活用して行うアンケート事業では、10年・20年先の大野町の在り方を見据えていくため、世帯全員からの回答を得たい考えですが、「勝手に決めたアンケートには答える気にならないので、地域の人達と内容を決めたい」と、アンケート項目を決めるワークショップから始められる見通しで、ワークショップには富樫先生にもご協力をいただく予定です。富樫先生からは、大野町の背景などの確認とともに、近隣地域の活動事例が多数紹介され、アンケート事業に限らず「大野町はどんな歴史のあるまちか」「何ができそうか」「何を引き継いで、どんなまちにしていきたいか」を考える時間となりました。

事業名 子育て、親力アップセミナー事業

団体名 スコーレ各務原

【事業概要】

子育て中の家庭の養育者を対象に、これから育っていく子ども達の健全な育成を目指して、広く子育て講座やセミナーを開催して家庭のあり方を伝え、必要に応じてサポートしていく。

【事業費総額(予算)】152,780 円

【助成金交付決定額】100,000 円

【主な経費内容】

交通費、ポスター、チラシ、コピー代、感染症対策消耗品、会場使用料、情報誌掲載広告料、リモート配信機材レンタル代、体温計、3面アクリル板

令和3年5月10日(月)13:00~14:00、7月1日(木)に那加福祉センター集會室で開催を予定している講演会でオンライン配信を併用するため、スコーレ各務原の松尾さんが、ドローン撮影やライブ配信を得意とする杉山正幸さんから操作・配信方法のアドバイスを受けられました。

スコーレ各務原では、過去に録画素材を活用しての動画配信経験があるものの、ライブ配信の経験や機材がなく、自身でライブ配信するためにはどのような機材を用意したら良いか、配信をお願いする場合はどのようなご協力をいただけるか、などの相談をされました。



杉山さんは、スコーレ各務原が予定している配信の内容や、手持ちの機材を確認した上で、無料で使えるライブ配信用ソフトを紹介。追加で準備が必要な機材を挙げられ、自団体に配信ができるようにアドバイスされました。

団体は、杉山さんからのアドバイスを受けて練習を重ね、5月13日(木)には団体内でのリハーサルを実施。6月にも再度リハーサルを行い、当日の配信に備えます。

この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和3年度交付事業の活動の様子をご紹介します。

令和3年度交付事業…<スタート助成>1年目:3事業 2年目:3事業 <まちづくり助成>1年目:2事業 計8事業にご活用いただいています。

以上の内容は、取材や団体からのヒアリングをもとに作成しました。

事業名 男女共同参画に根付いた住みやすい町づくり事業

団体名 Tri-Angle

【事業概要】

男女共同参画の視点から、身近な社会問題を考え、セミナーや勉強会を通じて市民および企業に向けて発信することにより、生きやすい社会を構築する。

【事業費総額(予算)】105,350円

【助成金交付決定額】67,000円

【主な経費内容】

講師謝礼、駐車場代、A4用紙、プリンターインク、開催案内印刷費、封筒、切手代、ラベルシール、養生テープ、消毒液、傷害保険代、会場使用料、USBメモリ、体温計

Tri-Angle では、8月29日(日)に那加福祉センター集会所で講演会を開催するため、団体内での話し合いを経て、4月にチラシ案を作成しました。対象者によって受け取りやすい情報が異なることから、2種類のチラシの作成を予定されています。

団体では、この講演会の参加者募集方法や運営方法についての話し合いを、5月23日(日)13:00~15:00に尾崎南町集会所で予定していましたが、岐阜県が『第4波』非常事態宣言』を发出中で会場が使用できない状況であるため、個別の相談・書面での報告に切り替えられました。団体では、計画当初から、コロナウィルスの状況をみながら臨機応変な対応が求められることを想定していたため、落ち着いて対応されています。

団体代表の下野ななやさんは、「コロナウィルスの感染拡大状況をみながら、必要であれば8月のセミナー前に集合での打ち合わせを再度計画したい」との意向を示されました。

活用してみませんか / まちづくり活動助成金

次の全ての条件を満たす活動は、まちづくり活動助成金の対象となる可能性があります。

【助成対象団体】

- ☑ 市内でまちづくり活動を行っている (NPO 法人の場合主たる事務所が各務原市内にある)
- ☑ 定款または規約、会則を有している
- ☑ 構成員のうち5人以上が各務原市民 (在勤・在学を含む)

【助成対象事業】

- ☑ 市内で実施される
- ☑ 広く市民に開かれている
- ☑ 地域や社会に貢献するまちづくり活動
- ☑ 当該年度の助成金実施期間中に自ら企画運営・実施する
- ☑ 各務原市から他の補助金・交付金などを受けていない
- ☑ 営利目的でない
- ☑ 宗教の教義を広めたり、儀式行事を行ったり、信者を教化育成するものでない
- ☑ 政治上の主義を推進、支持、反対するものでない
- ☑ 特定の公職の候補者や公職にある者または政党を推薦、支持、反対するものでない
- ☑ 暴力団または暴力団員もしくはこれらと密接な関係を有するものが関与していない

1. スタート助成

これから設立する方もご相談を！  
設立後3年未満の団体向け

助成金額	1年目		2年目	
	助成率	対象経費の2/3以内	対象経費の1/3以内	対象経費の1/3以内
限度額	100,000円	50,000円	50,000円	50,000円
上記及び(総事業費-事業収入)を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切り捨て)				
助成回数	1団体につき1年に1度まで			
対象経費	事業に必要な経費(食糧費は除く)			
設立年数	設立後3年未満の団体			
審査方法	書類審査			
事業報告	公開活動報告会			

2. まちづくり助成

既に活動を続けている方はこちら！  
設立後3年以上の団体向け

助成金額	1年目		2年目	
	助成率	対象経費の2/3以内	対象経費の1/3以内	対象経費の1/3以内
限度額	300,000円	150,000円	150,000円	150,000円
上記及び(総事業費-事業収入)を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切り捨て)				
助成回数	1団体につき1年に1度まで			
対象経費	事業に必要な経費(食糧費は除く)			
設立年数	設立後3年以上の団体			
審査方法	書類審査+公開プレゼンテーション			
事業報告	公開活動報告会			
注意事項	別な事業で申請する場合、又はスタート助成を受けた場合は、当該助成事業の完了年度の翌年度は申請できません。			

「これから団体結成を考えている」

「事業内容は具体的には決まっていない」、という方も  
お気軽にご相談ください。

各務原市役所 市長公室 まちづくり推進課

☎ 058-383-1997 ✉ machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp